

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

兵庫医科大学医学部では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を掲げており、その方針に則り、本学部の目的を達成するために次のような人物を求めます。

求める人物像

■ 関心・意欲・態度

- ・ 医師となることについて明確な目的と情熱を持っている。
- ・ 病める人に対する思いやりを持ち、痛みに共感できる。
- ・ 豊かな教養と人間性を有する。
- ・ 常に努力を怠らない強い向上心を持ち、自ら進んで学修し、生涯にわたって自己啓発・自己学修・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- ・ 科学への好奇心を有し、疑問に対して積極的に追求する姿勢を有する。
- ・ 自己犠牲の精神があり、社会に奉仕する心を持つ。

■ 思考・判断

- ・ 高い倫理性を有し、良心に従い行動できる。
- ・ 自分の考えや行動に責任を持ち、それを周囲に明確に示すことができる。

■ 技能・表現

- ・ 協調性に富み、周囲の人と十分なコミュニケーションを取ることができる。
- ・ 多様な価値観を理解でき、相手の立場に立って接することができる。
- ・ 知識、技能をわかりやすく伝えることができる。

■ 知識・理解

- ・ 本学部の医学教育プログラムに対応できるしっかりとした基礎学力を有する。

入学するまでに、次のような教科、科目の内容を理解、習得していることが望まれます。

数学

数学I、数学II、数学III、数学A、数学B（「数列」、 「ベクトル」）

外国語

コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II

理科

物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物

その他に、基礎的な読解力、表現力、判断力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、分析能力、社会の仕組みの理解と変化する社会情勢に対応する素養

このような人物の受け入れを行うため、本学部では次のような入学者選抜を実施しています。

選抜方法の趣旨

地域医療を含む日本の医学・医療・福祉・保健に広く貢献できるよう、一般選抜に加えて学校推薦型選抜を行い、多様な人物を受け入れることを目指しています。

一般選抜では、高等学校において十分な学力を修得した学生、或いは同等の学力を有する学生を選抜します。一般選抜B（高大接続型）では、自ら進んで英語力を身につけ、国際的に活躍しようとする意欲を有することを重視します。学校推薦型選抜では、高等学校において一定のレベルの学力を修得したと認められる学生の推薦を求めますが、これに加えて、スポーツ・文化活動、検定資格、生徒会活動なども評価の対象としています。

学校推薦型選抜（地域指定制）では、将来の地域医療を担う医師を確保するため居住地域を限定して募集するもので、この制度により入学した方は地域医療に関する実習を履修します。

評価・重視する点や具体的な判定方法は次のとおりです。

■ 学校推薦型選抜

充実した高校生活を送り全教科にバランスの取れた学力と優れた人間性を有する方を求めます。また、高等学校で多様な活動をした方、個性的な活動をした方も歓迎します。医学を学ぶのに必要な学力をみるための基礎適性検査、表現力、論理的思考力をみるための小論文試験、目的意識、コミュニケーション能力、表現力、判断力、協調性などをみるための面接試験を行います。基礎適性検査、小論文試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定します。

特に、学校推薦型選抜（地域指定制）では、地域医療に対する理解・意欲などを含めて評価します。

■ 一般選抜

高等学校において十分な学力を修得した学生に加えて、社会人や他学部卒業生などを含めて幅広く人材を募集します。一般選抜A（4科目型）では、医学を学ぶのに必要な学力をみるための個別学力検査は3教科4科目を課します。小論文試験は読解力、分析能力、論理的思考力等を計ります。面接試験では医学への志向と勉学意欲、表現力、判断力、協調性、コミュニケーション能力を持っていることを重視します。一般選抜B（高大接続型）では、個別学力検査に加えて英語の資格・検定試験を用いて英語の4技能を計ります。

個別学力検査、小論文試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定します。